

古桥 遗风

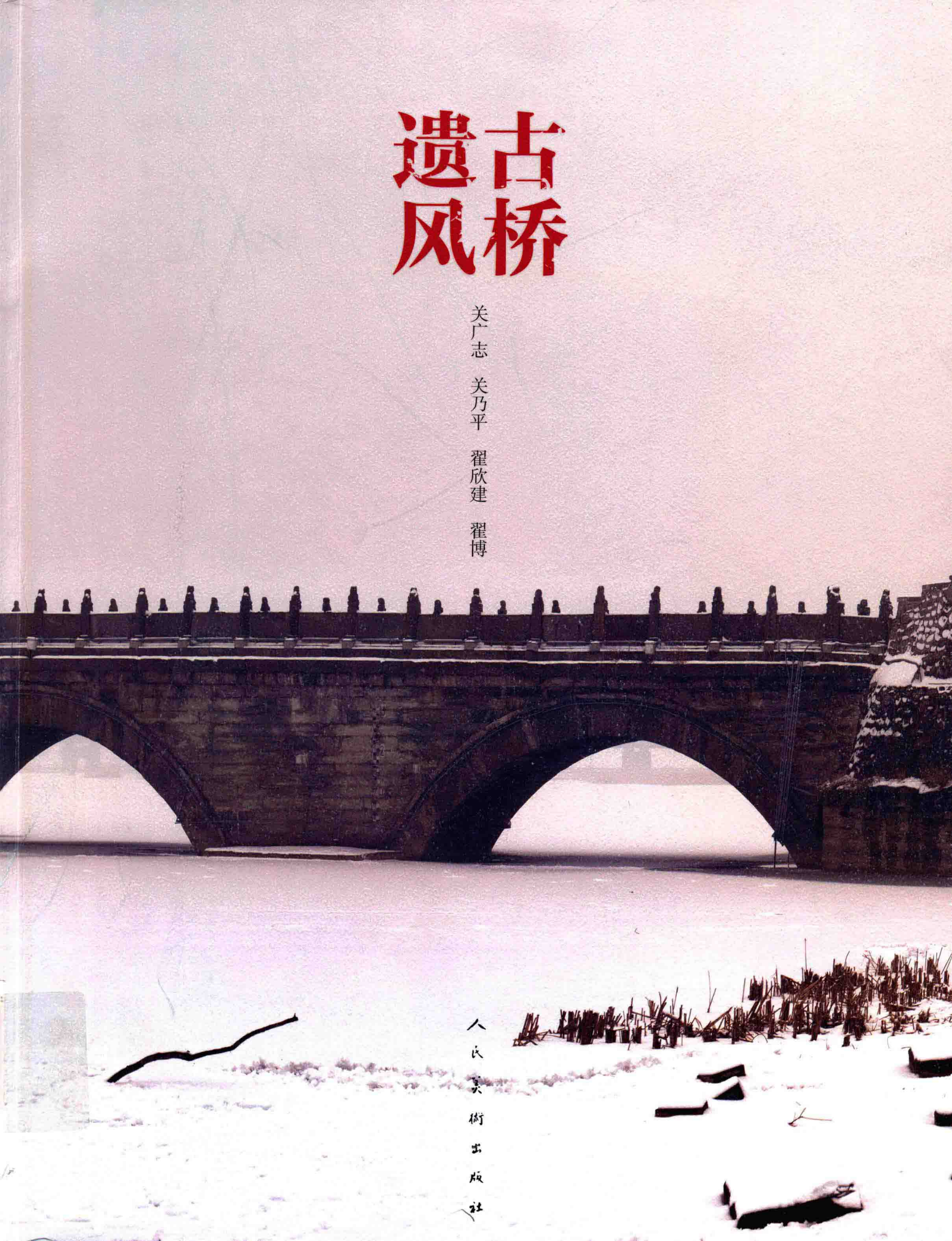
关广志

关乃平

翟欣建

翟博

人民美术出版社



古桥遗风

关广志 关乃平 翟欣建 翟博

人民美术出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

古桥遗风 / 关广志等编著. -- 北京 : 人民美术出版社,
2013.7
ISBN 978-7-102-06476-5

I. ①古… II. ①关… III. ①古建筑—桥—世界—画
册 IV. ①K917-64

中国版本图书馆CIP数据核字 (2013) 第192228号

古桥遗风

作 者 关广志 关乃平 翟欣建 翟博
编辑出版 人民美术出版社
地 址 北京北总布胡同32号 100735
网 址 www.renmei.com.cn
电 话 发行部: 010-56692181 010-56692190
邮购部: 010-65229381

责任编辑 日 高
设 计 日 高
责任校对 马晓婷
日文审读 陈 松
责任印制 文燕军

制版印刷 浙江影天印业有限公司

2013年9月 第1版 第1次印刷

开本: 889毫米×1194毫米 1/16 印张: 11

印数: 0001-2000

ISBN 978-7-102-06476-5

定价: 98.00元

版权所有 侵权必究

如有印装质量问题影响阅读, 请与我社联系调换。

目录

序 / 4

关广志赋桥 / 14

关乃平品桥 / 22

翟欣建探桥 / 72

翟博咏桥 / 130

后记 / 173

古桥遗风

关广志 关乃平 翟欣建 翟博

人民美術出版社

试读结束：需要全本请在线购买：www.ertongbook.com

图书在版编目 (CIP) 数据

古桥遗风 / 关广志等编著. -- 北京 : 人民美术出版社,
2013.7
ISBN 978-7-102-06476-5

I. ①古… II. ①关… III. ①古建筑—桥—世界—画
册 IV. ①K917-64

中国版本图书馆CIP数据核字 (2013) 第192228号

古桥遗风

作 者 关广志 关乃平 翟欣建 翟博
编辑出版 人民美术出版社
地 址 北京北总布胡同32号 100735
网 址 www.renmei.com.cn
电 话 发行部: 010-56692181 010-56692190
邮购部: 010-65229381

责任编辑 日 高

设 计 日 高

责任校对 马晓婷

日文审读 陈 松

责任印制 文燕军

制版印刷 浙江影天印业有限公司

2013年9月 第1版 第1次印刷

开本: 889毫米×1194毫米 1/16 印张: 11

印数: 0001-2000

ISBN 978-7-102-06476-5

定价: 98.00元

版权所有 侵权必究

如有印装质量问题影响阅读, 请与我社联系调换。

目录

序 / 4

关广志赋桥 / 14

关乃平品桥 / 22

翟欣建探桥 / 72

翟博咏桥 / 130

后记 / 173

序

古代先民居住的地方，多与水为邻，因此，桥就随着人的生活而建造并不断演变着。

世界地域广阔，地形高低不同，气温冷暖各异，因此各地先人们均根据当地的自然条件和社会情况，造就了各自独特的、完整的桥梁系列。

桥梁可以沟通不同地域之间的交流，同时，也促进了各地人民之间的融合与友谊。

桥梁的建造包含了文化、历史、建筑、艺术等诸多方面的因素，富有极浓厚的人文色彩。

中国的四大古代名桥——赵州桥、卢沟桥、洛阳桥、湘子桥，集中体现了中国传统文化的深厚与积淀。在存世的成百上千年的时间里，它们已完全融进了大自然之中，在“天人合一”、“顺应自然”的理念中，凸显出桥梁的实用与艺术相结合的文化美。

桥梁是公共建筑，所以，也就具备了公共审美的功能。这也是我们今天常讲的地域文化或城市文化的话题。一座具有悠久历史积淀与美学内涵的建筑，年复一年地静静处于人们生活的环境里：在远处可以观看，到近处可以触摸，经过时可以遐想——儿时的玩耍，老时的回忆。这种历史文化的认知与审美能力的熏陶，对每个生活在这里的人来讲都是潜移默化的，是循序渐进的，同时也是刻骨铭心的。

关广志（1896—1958），中国第一代水彩画家，美术教育家。1931年赴英国皇家美术学院学习，回国后先后在燕京大学、北平国立艺术专科学校、辅仁大学、清华大学、中央美术学院等高等院校任教。

20世纪三四十年代美术界有“南李北关”之名，“南李”为李剑晨，“北关”为关广志。

关广志学贯东西，把西方绘画的造型观念与中国传统精神结合起来，创作出具有东方传统文化特色的水彩画，为后来中国水彩画的崛起奠定了坚实的基础。

关广志的铜版画作品《桥》，是中国最早运用松香粉腐蚀法表现生活的作品之一。古朴的画风、精湛的功底、简洁的构图，给人以中国传统文化浓厚的感染力。作品《桥》也起到了中西文化艺术交流的桥梁作用。

关广志作为美术教育家，为国家培养了一大批硕果累累的艺术家和教育家。在清华大学建筑系工作期间，与梁思成、林徽音、吴冠中等同仁一起同心同德、呕心沥血成就了一番中国建筑学的教育事业。

关乃平，1945年生于北京。现任日本东洋美术学校主任教授、日本国际水墨画交流协会会长、日本华侨华人艺术家联合会会长、中国侨联首批海外顾问。

关乃平出身于艺术世家。其父关广志为中国铜版画、水彩画先驱。关乃平从小耳濡目染，显露出美术才华。在中央美术学院附中打下了坚实的绘画基础。“文革”结束后，在改革开放的出国留学潮中，东渡扶桑，到东西方文化“接点”的日本去寻觅新的艺术天地。

关乃平在中国传统绘画之中，以“水墨重彩”作为切入点进行思考和研究，对世界艺术中东西方文化各自的精神有独到和清晰的认识。在数十年来坚持不懈的勤奋努力下，既保持和坚守了中华文化的民族主旋律，又借鉴、吸取了西方艺术的绘画表现手法，并在西洋画与中国画之间构建了交流的桥梁。

关乃平在中日友好的交流中，以“中国水墨画的传播大使”与“文化艺术侨领”著称。数十年来，怀着一颗报效祖国的赤子之心，勤勉地为两国的文化、教育、艺术进行穿针引线的工作，举办画展、演出、校际交流、赈灾义展、学术研讨等一系列活动，真正起到了中日两国人民进行交流的桥梁作用。

翟欣建，1950年生于天津。现为中央美术学院教授、中国美术家协会会员。

翟欣建在1966年报考中央美术学院附中，通过了各项考试，因“文革”而失去了学习的机会。1981年毕业于中央美术

学院油画系，留校任教中央美术学院附中。

中央美术学院前院长靳尚谊对翟欣建这样评价：“翟欣建长期从事附中的绘画基础课教学和组织工作，由于他的造型和色彩基础扎实和善于教学，对附中中学生成绩在全国保持领先地位起了重要作用。他在美院的毕业创作作品《心灵之歌》是较早用抒情方式表现工业题材的作品，当时有一定的影响。后来在题材的演变中，仍保持作品的抒情风格，是比较早期有自己特色的画家。”

翟欣建非常重视基础教育，“川广自源，成人在始”，他认为良好的基础教育是所有事业成功的源泉。“事以简为上，言以简为当”，他喜欢具有东方意韵的古典主义艺术风格。

在几十年的艺术教育生涯中，翟欣建桃李满天下，就像一座桥梁，把艺术学子们引向了理想的彼岸。

翟博，1978年生于北京。现为北京前进视觉文化传播有限公司艺术总监、高级摄影师。

1998年，翟博在北京信息工程学院计算机工程系学习，后对摄影艺术情有独钟，转而学习摄影艺术。2010年，考取北京电影学院摄影学院举办的“高级进修班”。获得北京市高级摄影师职称。

翟博的长幅摄影作品《卢沟桥》，画面蒙眬飘逸而又恢宏大气，雪后云淡风轻，虚中有实，实中有虚。卢沟桥宛如一条巨龙横卧之中，雪把一切繁杂之物简化成了黑与白的世界，只剩下桥身、房屋、树木、石块及枝干的剪影。同时，又似一幅疾风劲草的书法，笔断意不断地扫过画面。摄影作品《卢沟桥》不但显示出翟博的摄影技巧与艺术美学的理念，同时，更彰显出古桥遗风的意境之美。

从关广志1940年创作铜版画作品《桥》至今已73年了，在这之中的三代人所注视的一个主题就是古代桥梁。画册《古桥遗风》所展示的120余幅作品，均是作者对古代桥梁的描绘，借以缘情言志。情是人心、人性、人情之总和；志是对自然、社

会、现实之态度。中国文化的一个重要内涵就是崇尚天时、地利、人合的“天人合一”理念，人的行为规范只有符合自然万物之道，人才能万事亨通，社会才能平安祥和。

保存至今的古代桥梁，千百年来早已静静地融入了人们的生活，成了当地历史文化的地标性建筑，让今天生活在周围的人有了与古人“隔时共居”的感觉，在无形的时空中，使我们对自己的祖先增添了一种敬畏、信仰与自豪之心。

中央美术学院城市设计学院教授、院长 徐仲偶
2013年

序文

古代の人々は、水の近くで生活をするが多かったです。従って、橋というものが人々の生活の中で作られ、たえず変遷してきました。

世界の広大な地においては、地形の差があり、気温の差もあります。昔の人々が居住地の自然条件と社会状況により、それぞれ特色のある橋の体系を作りあげてきました。

橋は、異なる地域間の交流をつなぐと同時に、各地の人々との融合と友情を促すことができます。

橋づくりには、文化、歴史、建築、芸術などの諸要素が含まれ、きわめて濃厚な人文主義的色彩に富んでいます。

中国の四大古橋としての趙州橋、盧溝橋、洛陽橋、湘子橋は、中国の歴史及び伝統文化の積み重ねを端的に表現しています。数百年ないし千年を越えた長い歳月のなかで、それらの古橋は大自然の中に溶け込み、「天人合一」「自然順応」といった理念のもとで実用と芸術が融合した文化の美を現しています。

橋は公共建造物として、大衆の審美の機能を備えています。これは今日よく触れられる地域文化または都市文化の話題につながっています。橋は、長い歴史の積み重ねと芸術美学が内包された建造物として、一年また一年、静かに人々の生活の中で存在し、遠くから眺められ、近くで手で触れられ、そばを通るとき、想像に馳せることができます。子ども時代の遊びは年を取った後の思い出になります。この種の歴史文化に対する認知、および審美能力への薫陶は、そこで生活する人々にとってしらすらすのうちに起こわれてきたものです。そして、心に刻まれたものでもあります。

関広志氏（1896年—1958年）は、中国初代の水彩画の巨匠であり、有名な美術教育家です。1931年にイギ

リス王立美術院に留学し、帰国後は燕京大学、北平国立芸術専門学校、輔仁大学、清華大学、中央美術学院などの大学で教鞭を取っていました。

関広志氏は、20世紀30年代、40年代には、美術界で「南李北関」と呼ばれていました。南李とは李劍晨氏であり、北関とは関広志氏です。

関広志氏は東西の文化芸術を融合貫通させ、西洋の絵画における造形の観念を中国の伝統精神と結びつけ、中国の伝統文化の特色ある水彩画を創出しました。これが中国の水彩画発展のしっかりとした基盤を固めました。

関広志氏の銅版画作品「橋」は、中国で最も早くにロジン腐食法を用いて生活を描いた作品の一つであります。古風で素朴的な画風、巧みで完璧な技、そして簡潔な構図には、中国の伝統文化の強い感化力が溢れています。「橋」という作品は、中国と西洋との文化芸術交流の架け橋となっています。

関広志氏は、有名な教育家として、中国のために優れた芸術家や教育家を数多く育成しました。清華大学建築学部で仕事をされた間、梁思成氏、林徽音氏、呉冠中氏などの仲間とともに、一心同体で中国の建築学の教育に心血を注いで素晴らしい成果を挙げました。

関乃平氏、1945年北京出身。現在、日本東洋美術学校主任教授、日本国際水墨画交流協会会長、日本華僑華人芸術家連合会会長、中国華僑連合会初代の海外顧問であります。

関乃平氏は、芸術の名門に生まれ育ちました。父親の関広志氏は中国の銅版画の先駆者であり、近代水彩画の巨匠であります。関乃平氏は、小さいときからその薫陶を受け、早くから美術の才能を見せました。中央美術学院の附属中学校で絵画のしっかりとした基礎を学びまし

た。文化大革命が終わったあと、改革開放による海外留学ブームの中で海を渡り、東西文化の接点である日本に赴いて芸術の新天地を切り開きました。

関乃平氏は、中国の伝統絵画において、「水墨重彩」を切り口にして思考と研究を重ね、世界芸術における東西文化のそれぞれの精神に関して自分なりのはっきりとした認識を持っています。数十年間たゆまなく努力した結果、中華民族の文化の主旋律を保持・継承しただけでなく、西洋芸術における絵画の表現技法をも取り入れ、西洋画と中国画の間で交流の架け橋をつくりました。

関乃平氏は、中日友好交流の中で、「中国水墨画を広める大使」「文化芸術の華僑領袖」として知られています。数十年来、純真な愛国心を以って、こつこつと両国の文化と芸術の交流のためにパイプを作り、絵画展覧会、公演、大学間の交流、被災者を救済するための慈善公演、シンポジウムにおける学術交流などの活動に尽力し、中日両国の国民の交流に正真正銘の架け橋として活躍されています。

翟欣建氏、1950年天津出身。現在、中央美術学院教授、中国美術家協会会員。

翟欣建氏は1966年に中央美術学院附属中学校を受験し難関を突破しましたが、文化大革命により、当時は進学する機会を失いました。1981年に中央美術学院油絵学部を卒業し、その後、中央美術学院附属中学校で教鞭を取っていました。

中央美術学院元院長の靳尚誼氏は、翟欣建氏を以下のように評価します。「翟欣建氏は長い間附属中学校の基礎絵画の授業及びそれに関連する仕事を担当してきました。本人は造形と色彩の基礎がしっかりしているうえに教えることに長けています。附属中学校の生徒の成績

が全国レベルをリードするのに重要な役割を果たしました。美術学院を卒業した際の卒業創作作品『心の歌』は、比較的早く叙情的な手法で工業生産という題材を表現した作品です。当時は周囲に一定の影響を及ぼしました。その後、題材は変化しましたが、叙情的な作風を保ち、早い時期から自分の特色を形成した画家であります。」

翟欣建氏は、基礎教育を非常に重視しています。「広い河には源があり、人をなすには始まりが肝心です」。翟氏は、しっかりとした基礎教育はすべての職業の成功の源であると考えています。「事は簡潔のほうがよく、言葉も簡潔のほうが当を得ています」。翟氏は、東洋の味わいと趣のある古典的な芸術風格を好んでいます。

翟欣建氏は数多くの学生を育てました。そして、橋のように芸術を志す若者たちを理想の地に導いてきました。

翟博氏、1978年北京出身、現在、北京前進ビジュアル・カルチャー有限公司（中国語名：北京前進視覚文化伝播有限公司）の芸術総責任者、上級撮影技師

翟博氏は1998年に北京情報システム大学（中国語名：北京信息工程学院）コンピューター学部に入學しました。その後、撮影芸術に夢中になり、撮影芸術を専門的に学ぶようになりました。2010年に、北京映画大学（中国語名：北京電影学院）の撮影学院の「上級研修クラス」に入りました。現在、北京市上級撮影技師の称号を得ています。

翟博氏の撮影作品「盧溝橋」は、画面が朦朧で飄逸的で、堂々としています。雪の後の薄っすらとした雲、そよ風という気質を備え、虚の中に実があり、実の中に虚があります。盧溝橋が巨大な龍のように横たわって

て、雪が煩雑なものを白と黒の世界と化し、橋のボディ、家屋、樹木、石の塊及び枝の輪郭しか残されていません。同時に、疾風勁草の書のように、線が切れましたが、意が切れていない勢いで画面をかすりました。撮影作品『盧溝橋』は、翟博氏の撮影技術と芸術美学の理念を示しただけでなく、古郷遺風という画境の美しさを際立たせています。

関広志氏が1940年代に銅版画作品『橋』を誕生させてすでに73年の月日が過ぎました。この3世代の人達は、共通の主題に注目しています。それは、古代の橋というものです。画集『古橋遺風』に収められた120あまりの作品は、いずれも古橋への描写であり、作者がそれを以って感情を表し、思想を語っています。感情とは、人の心、人の性、人の情という三者の集合です。思想とは、自然、社会、現実に対する態度のことです。中国文化では、天の時、地の利、人の和という「天人合一」の理念が重んじられています。それは、人々の行いが自然万物の道に合って初めて、万事が順じ、社会が平和安泰となるという考えです。

今日まで残された古代の橋は、長い歳月を経てすでに人々の生活の一部となり、その土地の歴史文化の象徴的、代表的な建造物となっています。橋の存在により、今日、その周辺で生活している人々が、昔の人々と「時間を隔てた共同生活をしている」という感覚を持つことができました。われわれは、形のない時間と空間の中で、祖先に対する畏敬の念、信仰心、及び誇りに思う感情が一層強まりました。

中央美術学院都市デザイン学院教授・院長、徐仲偶

2013年

Preface

In the ancient times, people usually lived near rivers. Therefore, with the development of people's lives, bridges are built and changed gradually.

Due to the differences in terrain and climate, people built a series of bridges unique to the local natural and social environment. Bridges connect communications between different areas, and thus promote people's integration and friendship.

The construction of bridges contains elements of culture, history, architecture and arts.

The four great ancient bridges — Zhaozhou Bridge, Lugou Bridge, Luoyang Bridge and Xiangzi Bridge — embodied China's profound history and culture. For hundreds of years, they have blended in with the nature. This complies with the notion of 'harmony between man and nature', and highlights the combination of the function and art.

Bridges, as public buildings, serve the function of public aesthetic appreciation. This is what we call regional culture or urban culture today. An architecture with historical and aesthetic connotations stands quietly year after year for people to appreciate in distance, to touch at hand, and to meditate when passing by. Children play there, and the old have their memories there. The combination of history and aesthetic appreciation extends subtle and gradual influence embedded in everyone who lives there and who has been there.

Guan Guangzhi (1896-1958) was China's first-generation watercolor master, and well-known art educator. In 1931, he went to study in Royal Academy of Arts in Britain. Later he came back to China to teach successively in Yanjing University, Beiping National Arts School, Fu Jen Catholic University, Tsinghua University, and Central Academy of Fine Art.

In the 1930s and 1940s, 'Southern Li and Northern Guan' were well-known in art circles. 'Southern Li' referred to Li Jianchen, and 'Northern Guan' was Guan Guangzhi.

Guan Guangzhi integrated Chinese and Western art. His combination of shape concepts in Western art and traditional Chinese spirit resulted in the watercolor paintings featured with traditional Oriental culture, laying a solid foundation for future development of Chinese watercolor art.

Bridge, an etching painting by Guan Guangzhi, is one of the first works that adopted the method of 'colophony powder etching' to present life. This painting, with its classic style, simple composition and Guan's masterly technique, conveys Chinese traditional culture. It also bridges Chinese and Western cultures and art.

As a famous educator, Guan Guangzhi trained lots of productive artists and educators. During his work in Department of Architecture in Tsinghua University, he, together with Liang Sicheng, Lin Huiyin and Wu Guanzhong, made great contribution to the education of architecture in China.

Guna Naiping, born in Beijing in 1945, is a professor and director of Toyo Institute of Art and Design, chairman of Japan Inkwash Association for International Exchange, chairman of Japanese Federation for Chinese and Overseas Chinese Artists, and one of the first consultants of All-China Federation of Returned Overseas.

He comes from a long line of artists. His father Guan Guangzhi was a pioneer in etching, and watercolor master in modern China. Therefore, he was immersed in the atmosphere of art and showed his talents when he was a little child. Later his study in the Fine Arts School Affiliated to Central Academy of Fine Art laid a solid foundation for his painting career. After the Cultural Revolution in

China, he, like many who studied abroad after China's reform and opening up, went to Japan which is the 'junction' of oriental and western cultures to explore a new artistic world.

Guan Naiping studies carefully on 'inkwash and strong color' in traditional Chinese painting, and has his own thought on the spirit of both Oriental and Western cultures in art. Through several decades' efforts, he has kept the essence of Chinese culture, and also learnt from the presentation techniques in Western art. Thus, he bridges the western painting and Chinese painting.

Guan Naiping is famous as 'ambassador of Chinese inkwash' and 'leader of culture and art among oversea Chinese' in China-Japan communication. For decades, he has been dedicated to the communication between China and Japan in culture, education and art by organizing exhibitions, performances, school exchanges, donations, charities and workshops. He really bridges the communication between Chinese and Japanese.

Zhai Xinjin, born in Tianjin in 1950, is a professor in Central Academy of Fine Art, and member of China Artists Association. In 1966, Zhai Jianxin was admitted by the Fine Arts School Affiliated to Central Academy of Fine Art. However, he could not study there because of the Cultural Revolution. Since 1981 when graduating from Department of Oil Painting in Central Academy of Fine Art, he has been teaching in the Fine Arts School Affiliated to Central Academy of Fine Art.

Jin Shangyi, former Dean of Central Academy of Fine Art, praised him that, 'Zhai Xinjian has been dedicated to teaching basic drawing courses and administrative works in the school. Due to his masterful techniques and excellent teaching in drawing and color, he has contributed a lot to our students' leading place across the country. His diploma project, *Song of Soul*, is one of the first works to present

industrial subjects in a lyrical style, and is very influential. Such a style has been kept in his later works. He is an artist with his own style.'

Zhai Xinjian attaches great importance to education. 'The grandeur of a river is attributed to its source, and the success of a person to his beginning.' Zhai Xinjian believes that a good education basic education is the source of all successful careers. 'A thing is best when it is simple, and a word is proper when it is simple.' He is much into the classic art style of Oriental features.

Zhai Xinjian trained lots of students. Like a bridge, he leads the students to the shore of their dreams.

Zhai Bo, born in Beijing in 1978, is the Art Director and Senior Photographer of Beijing Progress Vision Ltd. .

In 1998, Zhai Bo studied in Department of Computer Engineering in Beijing Information Science and Technology University. Later he developed an interest in photography, and began to study it. In 2010, he took the Advanced Courses for Further Studies by School of Photography in Beijing Film Academy. He was awarded 'Beijing Senior Photographer'.

Lugou Bridge, a long photograph by Zhai Bo, presents a hazy yet grand view through light clouds and breeze after snow. Lugou Bridge reclines in the snow as if a great dragon, and the snow turns everything into a simple world of black and white, leaving only the shadows of bridge, houses, woods and rocks. Meanwhile, the photo is like a calligraphic work whose strokes are written as if a strong wind blows across sturdy grass. This photo not only embodies Zhao Bo's photograph techniques and art aesthetics concepts, but also presents the beauty of the ancient bridge.

For 73 years since Guan Zhiguang's *Bridge* in 1940, the three generations have been concerned with the same subject: ancient

bridges. This album collects over one hundred and twenty works about ancient bridges, through which the authors express their emotions and ideas. The emotions are the combination of people's feelings, temperament and humanity; and the ideas are their attitudes towards the nature, society and reality. An important element in Chinese culture is the worship of 'harmony between man and nature'. Only when people act according to the nature, can they enjoy a peaceful life and a harmonious society.

For hundreds of or over a thousand years, these ancient bridges have blended into people's life, and become landmarks of the local history and culture, so that the surrounding people feel that they seem to live together with the ancient people, only in different time. Therefore, in the invisible space and time, we feel reverent and proud of our ancestors.

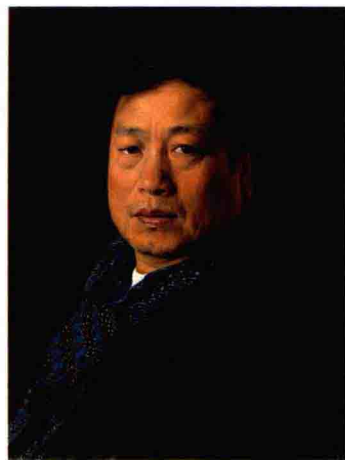
Xu Zhongou,
Dean of School of Urban Design, Central Academy of Arts,
2013.



《关广志像》



翟欣建作《关乃平像》
纸 炭精棒



于明作《翟欣建像》
布画油画



翟欣建作《翟博像》
纸 墨水笔 水墨



这四位艺术家有着深层的共性，那就是，无论他们倾心于表达，还是专注于内容，他们都探索语言的形式——表达的形式和内容的形式，进行着“意义”的合奏。